

2026年  
4月号

# 薬剤部通信

見てね!



薬剤師の活動や参加イベント情報などをお伝えしていきます!

## 3月の薬剤部ゼミ報告



今回は褥瘡治療薬について紹介しました。

当院では褥瘡委員会があり、医師や看護師などの委員会メンバーが月に1回、褥瘡回診で患者さんのベッドサイドまで伺い、処置や薬剤の選択を行っています。特に寝たきりの患者さんは褥瘡ができやすく適切な薬剤の選択が重要です。

どの病棟の患者さんでも褥瘡が発生するリスクはあるため、今回のゼミをきっかけに様々な病棟の薬剤師と一緒に褥瘡治療薬を整理でき、また自分自身を勉強になりました。〈武石〉



## 2025年竹田総合病院のロングローテーションとショートローテーション

3年目となり、スーパーローテーションも後期研修に入りました。

2年目のロングローテーションで得た経験や学びを活かして、今年度はより薬剤師としての専門性を高められるよう努めていきたいと考えています。また、来年度は日病薬病院薬学認定薬剤師の受験資格が得られるので、単位の取得に向けた勉強会や学会などに積極的に参加し、自己研鑽に努めることでさらなる知識の向上に繋げていきたいです。〈緑川〉



外来化学療法チームの研修を通して、ECAMを意識した面談に加えて、副作用管理や、看護師、栄養士といった多職種との情報共有において重要な役割を担っているということを再認識できました。

2年目の病院薬剤師として、今回得た学びを日常業務に生かし、患者さんが安心して治療を受けられるよう、知識と対応力をさらに高めていきたいと思っています。〈石田〉

## 東北医科薬科大学の企業説明会への参加

東北医科薬科大学での企業説明会に参加してきました。

病棟担当薬剤師として普段行っている業務内容や新人教育の内容などを直接学生にお話しすることができ、当院の魅力をしっかり伝えられたと思います。就職活動に積極的な学生ばかりで質問もたくさんいただき、私も充実した時間を過ごすことができました。

今後、病院見学や採用試験への応募が増えてくれれば嬉しいです。〈慶徳〉

## 星薬科大学の企業説明会への参加

星薬科大学の病院説明会に参加してきました。5名の学生が話を聞きに来てくれました。

私の説明が長くなってしまったせいでもう質問の時間が取れませんでした。私としてはまだまだ伝えたいことがたくさんあったので、会津観光を兼ねて病院見学に来てもらえたら嬉しいです。

次回参加するときは時間配分を考えて、しっかりと質問の時間が取れるようにします。楽しみにしてください。〈成田〉



## 昭和薬科大学の企業説明会への参加

昭和薬科大学合同病院説明会に参加しました。

多くの学生が認定資格や専門性の向上に強い関心を持っており、キャリア形成への意識の高さが印象的でした。当院の教育制度やキャリアアップ支援について説明し、将来の働き方を具体的にイメージしてもらう機会となりました。

説明会後に実際に病院見学に来てくれた学生さんもあり、有意義な交流の場となりました。〈山田〉

竹田総合病院 薬剤部

## 学会発表報告

2026年3月7日、福岡にて開催された日本臨床腫瘍薬学会学術大会において、「がん日常診療におけるPHRアプリによる症状管理とモニタリングのためのレジストリー研究」について発表を行いました。本研究は、がん患者向けPHR(Personal Health Record)アプリを活用し、日常診療における症状管理の実施可能性や有用性を評価する多施設共同研究です。

中間解析では、PHRアプリ利用開始後1か月で約95%の患者が継続して症状記録を行い、年齢やがん種による大きな差は認められませんでした。また、患者の日々の症状変化を継続的に把握できる可能性が示され、診療支援への有用性が期待されました。今後も症例集積を継続し、がん診療におけるPHR活用の普及とエビデンス創出に取り組んでまいります。〈木本〉



## 領域別勉強会

3月25日に領域別勉強会が行われました。

この勉強会は、主に若手の薬剤師向けに各領域の疾患や薬物治療についてメーカーの担当者・または当院の医師からお話をしていただく勉強会で、月に1回ほど開催されています。毎回司会を1人立て、進行や簡単な確認問題の作成を行っています。

今回は輸液についての勉強会で司会を努めました。

毎日目にするものですが、組成の違い・役割の違いについて詳しく教えて頂き、知識を増やし、理解を深める良い機会となりました。〈小田〉



## 調剤薬局研修

本年度も保険薬局の薬剤師さんをお招きして、2日間に渉る研修会を行いました！

病院におけるがん医療を医師、管理栄養士、公認心理師、大学教授の協力も得ながらたっぷり学んでいただく会です！例年よりも患者さんとの面談機会を増やし、講義内容も変更するなど、がん医療の「今」に合わせたアップデートをして開催しました。

福島県全体のがん医療レベル向上に貢献し、多くの患者さんをハッピーにするため、これからも継続していきます！〈河原〉

大腸がんと肝胆膵がんに対する薬物療法の特徴や治療方針、副作用マネジメントについて発表しました。

各疾患で求められる治療戦略の違いや、患者さんごとに調整が必要となるポイントを整理しながら説明しましたが、専門的な内容を相手に合わせてわかりやすく伝えることの難しさを改めて実感しました。

今回の経験を通して、臨床で求められるコミュニケーション力の重要性を再認識できたため、今後の業務にしっかり活かしていきたいです。〈峯岸〉



竹田綜合病院 薬剤部



新人薬剤師として、まずは病院システムを学び、日々の業務を確実に覚えます。また、1件の症例発表に挑戦して臨床的視点を養い、5つの薬剤紹介スライドを作成し、分かりやすい情報提供に努めたいと思います。〈川政〉

薬剤師も社会人も1年目で知らないことわからないことだらけのひよっこですが、仕事とプライベートを両立しつつ、なるべく早く仕事の内容を覚えて皆さんのお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。〈菊池〉

高度な専門性が求められる病院という現場で、一つひとつの業務に誠実に向き合います。日々の気付きを大切に、将来は学生の皆さんに『背中を見て学びたい』と思ってもらえるような、信頼される薬剤師を目指します。〈菅野〉

1年目は学びの年と捉え、まずは業務の基礎を完璧にマスターします。先輩方の動きを吸収し、半年後には一人で一通りの実務を完遂できるよう努めます。そして、自分自身の成長が患者様の笑顔につながると信じ、1年目から積極的に知識と技術を吸収してまいります。〈伊藤〉

1年目は、まずは仕事を覚えて先輩方の迷惑にならないようにし、自分が数年後にどのような薬剤師になりたいかというビジョンを見つけられるようにしたいです。また、そのビジョンに対する準備を少しずつ進めていきたいと思います。〈国分〉

